

目次		頁
第一章	終戦直前の状況	一
第一節	一般状況	一
第二節	日本降伏交渉の知得状況	五
第二章	終戦企図承知時の状況	二七
第三章	連合軍進駐前の状況	三〇
第一節	十六日朝の幕僚部長會同	三〇
第二節	「スカル」ハッタ氏の失練と独立宣言	三三
第三節	終戦直後の處置	三七
第四節	終戦直後の「インドネシア」の動向	四三
第五節	戦争間の總締括り	四五
第六節	「インドネシア」の苦別	四六
第七節	終戦の「シンガポ」から醒めた八月下旬の日本人の氣持	四八

引揚後援護廳復員局留守業務部

第八節	連合軍の様子が少し分つた八月末頃の状況	五一
第九節	連合軍進駐の予備のあつた九月下旬の状況	五七
第十節	英巡洋艦隊の入港と九月中旬頃の状況	六〇
第十一節	九月下旬連合軍進駐直前の状況	九六
	1. 集会、武器携帯禁止處置	
	2. 今後の指導方針	一〇六
	3. 一般情勢	一一四
	4. 連合軍より進駐命令受領	一一八
	5. 「インドネシア側との連絡の回復	一二一
第四章	連合軍の進駐	一三四
第一節	進駐開始時の状況	一三四
第二節	連絡組織の構成	一三九
第三節	連合軍司令官より治安維持の爲直接兵器を行使する命令受領	一四一

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

5 日本軍の集結、武装解除の様相不達

二二九

6 労務差出命令

二二〇

第四節 英軍「ボゴラ」バンダワン進駐

二二一

1 英軍進駐の状況

二二二

2 連合軍「バンドワン」進駐前、「イ」側との交渉

二二三

第五節 總軍参謀副長終戦処理指導の爲来島

二二四

第六節 連合軍の「スマラ」マゲラン進駐

二二五

1 「スマラン」進駐

二二六

2 「マゲラン」進駐

二二七

第七節 軍司令部の「バンドワン」移駐、「ハタダイ」中務外部設置

二二八

第八節 十月、中旬に於ける蘭「イ」間の政治交渉

二二九

第九節 連合軍の「スラバヤ」進駐

二三〇

第十節 十月下旬兵艦の不讓渡、「イ」独立援助嚴禁命令

二三一

第十二節	十二月上旬に至る迄の引継ぎに給養通信状況	三〇〇
第十三節	人員の掌握、報告	三〇二
第十三節	通貨處理	三〇三
第六章	連合軍が連日進軍態勢を整へ内部進攻を企圖する頃状況(三)	一
第一節	要旨	一
第二節	十月中旬に於ける情勢判断	一八
第三節	軍司令官参謀長の連勝	一八
第四節	英軍「シロ」内陸進攻を企図す	二〇
	人「スラバヤ」方面の状況	二〇
	ス「マグラニ」「スマラニ」方面の状況	二二
	三 西部「ビヤワ」の状況	二四
第五節	連合軍の日本軍に対する態度	二八
第六節	「イ」の状況並びに英・日本軍に対する態度	三〇

引揚發獲廳復員司留守卷務市

第七節	日本人の使用が國際問題となる	(乙)の	五五
第七章	離島促進に勉めるを勅目なし	"	三七
第一節	十一月下旬乃至十月上旬に於ける英軍の力に対する見透し	"	三七
第二節	離島に関する英軍の企図	"	三八
第三節	蘭「イ」間の政治交渉	"	四一
第四節	内地送還船に「バン」島へ移駐の爲の所要資材	"	四一
第五節	十一月下旬の情勢判断	"	四四
第六節	スマラン部隊の指導	"	四六
第七節	十一月下旬のポシトゲテ「バンド」チ「ホ」地区の状況	"	四九
第八節	兵器殲滅の処理	"	五六
第九節	英「イ」間の闘争	"	五九
第十節	十二月中の離島に関する対連「対」接衝	"	六〇
第十一節	東中部「ジャワ」の処理	"	七七

第十二節 昭和二十一年一月頃の状況

一 概説

二 政治情勢

三 日本人の送還問題

四 「フシトシバクセル」和「禪樂庫」事件

五 一月末の一般政治情勢

第十三節 三月頃の状況

一 概説

二 政治情勢

三 軍事情勢

四 日本人の送還問題

五 東中部問題の解決促進

六 三月末の状況

(2)

の

八七

八八

九〇

九三

一〇五

一一二

一一三

一一三

一一四

一一七

一一八

一一九

一二八

引揚援護廳復員留守業務部

七 連合軍との間の緊要事項

第八章 東中部の送出と此の間の西部の処理(四月、五月、六月頃の状況)

第一節 東中部の送出

其の一 経過の概況

其の二 東中部送出に絡む兵器問題

其の三 若田總参謀長の行動

第二節 軍司令官代理山本少將の追放

第三節 四月中の西部「ジャワ」の處理

其の一 「バタヴィア」より離島

其の二 「ホントゲテ」地区の状況

其の三 「バンドウ」の状況

其の四 「レボ」大隊の撤収

第四節 四月中の全般離島構想

“	“	“	“	“	“	“	“	“	“	“	“	(乙) の
一九二	一八九	一八八	〃	〃	一八七	一八五	一八〇	一七七	〃	一六五	一六五	一六三

第五節	四月中の政治情勢	(2)の	一九六
第六節	五月中の一般状況並びに政治情勢	"	一九七
第七節	五月末の情勢判断	"	二一五
第八節	六月中の一般状況並びに政治情勢	"	二一八
第九章	離島中断 長期労務の爲に残置せらる	"	二三五
第一節	七月上旬の状況	"	ク
第二節	七月中旬の状況 長期労務の企圖を示れる	"	二三八
第三節	七月下旬の状況 離島の内還中断	"	二四七
第四節	「ホーランヤ」作業隊派遣	"	二四八
第五節	長期残留命令受領後の軍の統帥	"	二五二
第十章	英軍撤退前の状況	"	二五四
第一節	八月上旬の状況	"	ク
第二節	英軍撤退発表せらる	"	一五五

引揚爰獲徳復し司官宇業務部

第三節 八月下旬の状況

第四節 九月中の状況

其の一 十月英軍撤退説

其の二 日本軍の送還に關する連合軍との交渉

其の三 日本軍の送還に對する日本の態度

其の四 軍司令部の對内工作

其の五 島外派遣問題

其の六 九月末に於ける日本軍の送還に對する見透

第十一章 十月中の状況

其の一 飯塚問題

其の二 島外派遣問題

其の三 政治情勢

第十二章 十月中の状況

(2) 一五九

二六八

一七三

二七八

二八〇

二八四

二八四

二八四

二八五

〃

二九一

二九三

二九五

第十三章 英軍撤退 蘭軍に引継がる

其の一 蘭側による飯還時期を示す

其の二 引継時の政治情勢

其の三 蘭軍に引継がる

其の四 英軍に対する新聞論調

其の五 英軍撤退時の気持

第十四章 蘭軍時代

第一節 對蘭指導要綱

第二節 非常時對策

第三節 對「インネレ」態度

第四節 對赤十字、宗教団体態度

第五節 飯還問題

第六節 十二月中の政治情勢

(2) の 一九九頁

引揚援護廳復員局留守業務部

第七節	昭和二十一年大晦日の決心	三
第八節	昭和二十三年一月以降の敵軍心理	三
第十五章	「メモール」「バリ」「ロンボック」方面終戦処理	三
第十六章	勞務	三
第十七章	高外派遣「インドネシア」勞務者の呼び返し	三
第十八章	戦犯	三
第十九章	現地残留、逃亡兵 國際結婚	三
第二十章	復員業務 終戦後の死者	三
第二十一章	告辞	三
第二十二章	内地級置後復員局長官に提出した軍司令官の状況報告	三
附録		四